

日本YWCA東日本大震災被災者支援募金使途 中間報告

日本YWCAは被災者支援プロジェクトを立ち上げて、東日本大地震の地震・津波、そして東京電力福島第一原発事故による被災者へ、国内外の皆さまからの募金30,392,515円及び助成金13,776,500円(2012年2月末日現在)を用いて、2011年3月中旬~4月中旬までは緊急支援、それ以降は中期支援を続けています。皆さまからの暖かいご支援にお礼を申し上げ、緊急支援および中期支援の募金使途中間報告をいたします。引き続き日本YWCAは、各地域YWCAでリフレッシュプログラム(保養プログラム)他、仙台YWCA震災復興支援室「こころの杜」や福島YWCAを拠点に、長期に支援活動を継続します。引き続き募金のご協力をお願いいたします。

■緊急支援活動(2011年3月中旬~4月中旬)	2,698,517円
● 物資支援 地域YWCA・韓国YWCA・企業からの支援物資(ミネラルウォーター・乾麺・カレー・お菓子・紙おむつ・生理用品など)を宮城・福島・茨城・栃木・千葉県の被災地へ送付	2,698,517円
■中期支援活動(2011年4月~2012年2月現在)	22,909,415円
● 避難者受入れのための住宅支援~セカンドハウスプログラム~ 地域YWCAが紹介する住居・家庭に、福島県在住の乳幼児・就学期の子どもをもつ家族、高齢者、障がい者、40歳以下の単身女性、外国の方々を対象に、家族単位・子どもだけのグループなどでの利用を受け入れ (夏のセカンドハウスプログラム) 1,623,611円 (冬のセカンドハウスプログラム) 1,227,563円 札幌・東京・横浜・新潟・名古屋・神戸・呉・沖縄の各YWCAが12家族36名を迎え入れ 東京・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・松山のYWCAが9グループ36名を迎え入れ	2,851,174円
● 被災地の子どもたちの リフレッシュプログラム(保養プログラム) 被災地の母子や子どもたちが、ひと時の間だけでも不安や心配から解放されるように、各地域YWCAで、キャンプや観光、ボランティアとの交流などのリフレッシュプログラムを実施 (2011夏のリフレッシュプログラム) 6,418,560円 (2011冬のリフレッシュプログラム) 1,037,230円 *札幌「北の大地ですごす夏休み~みどりの風に吹かれてみよう~」8月2日~11日 親子9組20名 *札幌・函館YWCA共催「北の大地ですごす冬休み~青い空、白い雪、ひかりの街 ようこそ函館へ~」1月5日~8日 親子13組(子ども18名、おとな13名) *福島「教育部書道教室夏季プログラム」7月30日 子ども21名 *東京「新地っ子の夏休み」8月19日~23日 子ども29名参加 *京都「ひと夏のマイセカンドハウスプログラムin京都~京都で夏の思い出づくり~」7月29日~8月12日 子ども14名、おとな2名 *大阪「夏キャンプ 福島送迎プログラム」8月5日~10日 子ども12名、おとな5名 *神戸「神戸YWCA・神戸YWCA共同企画 夏のわいわいキャンプ」8月10日~15日 子ども11名、おとな3名 *福岡「ほっとひといき ママと行く九州のんびりキャンプ」8月22日~24日 親子6組(子ども14名、おとな8名) (2012春のリフレッシュプログラム) 4,356,000円 *東京「東京近郊の避難母子と福島に残っている父親のための家族キャンプ」3月24日~26日 4家族参加予定/3月30日~4月1日 4家族参加予定 *静岡「親子わくわくピクニック~福島県飯館から静岡へ避難保養プロジェクト~」3月23日~25日 親子10組(子ども15名、おとな10名)参加予定 *京都「春のリフレッシュキャンプin京都」3月26日~4月1日 子ども15名参加予定 *大阪「大阪わいわいステイプログラム」3月24日~31日 子ども15名参加予定 *神戸「ひょうご ちょっとのぞいてみようツアー」3月24日~29日 7家族(子ども13名、おとな9人)参加予定 (その他リフレッシュプログラム) 5,000,000円 *広島「ヒロシマ・フクシマ アート交流」12月25日~12月29日 高校生17名、引率教員2名、その他3名参加 *福島・日本YWCA共催「クリスマス・ミニコンサート」12月8日 30名参加/*湘南「子どもたちに与えた災害の心のケア」8月22日 22名参加 *福島・大阪・神戸・広島・呉YWCA合同「福島の放射能被害について」7月14日 於)大阪 15名参加、15日 於)神戸 25名参加、16日 於)広島 21名参加 *日本YWCA「ひろしまを考える旅」8月8日~10日 高校生2名、大学生4名参加/*日本YWCA「日韓ユースカンファレンス」8月30日~9月2日 大学生3名参加	13,441,120円
● 福島県新地町での支援活動 (福島県新地町災害ボランティアセンター運営協力) 2,098,132円 (9月以降の福島県新地町での支援活動) 274,986円 (8月10日「しんち町生活支援ボランティアセンター」として組織改編・再スタート) 4月から8月まで、11人のボランティアコーディネーターと、家屋の泥出しや片付けにあたったボランティアを派遣 *10月から2回、中学校の補習授業を担当するボランティア毎回2名派遣 第1回10月 1日:中学3年生20名参加 第2回11月12日:中学3年生7名参加 第3回12月10日:中学3年生8名参加 第4回1月21日:中学1・2年生40名参加 第5回2月18日:中学1・2年生60名参加 *新地町の中学生230名の震災・津波の体験作文のデータ化と英訳に、中・高校生を含むボランティアが協力	2,373,118円
● 仙台、福島でのこころのケア (シンチ・ハートプロジェクト) 200,975円 名古屋YWCAが、福島県新地町の3つの小学校の保健室とテレビ電話でつながり、子どもたちの話を聴き、相談にのり、こころのケアを実施(テレビ電話はシスコシステムズ合同会社による無償提供) 2012年2月現在の相談回数は50回(述べ107名) (復興支援室「こころの杜」) 2,000,000円 長期支援の拠点として仙台YWCAが「こころの杜」を開設。被災者の方へのこころの支援および継続的なボランティア確保のために、ボランティア養成の他、中長期にわたる支援者のためのこころのケアも実施。 *「こころのケア 傾聴サロン」4月から月1回開催/*「バスツアー」10月28日 仮説住宅にお住まいの方等25名参加、11月1日~3日 同36名参加 *「被災地の方の週末避難の受入れ」8月から毎週末、1家族(子ども3名・おとな2名)を受け入れ *「心と体のケアボランティア養成講座」8月から月1回開催 毎回15名~20名参加/*「被災地で活動しているボランティアへ食事を提供」4月から週1回提供 (福島でのこころのケア) 268,812円 *福島YWCA「こころのケアサロン」6月~11月 月1回開催 毎回15名~20名参加	2,469,787円
● その他 (仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク事務局へボランティア派遣) 184,674円 4月~8月 ボランティア12名派遣 (ガイガーカウンタ、サーバイメーター購入) 1,024,569円 (現地調査等諸経費) 564,973円	1,774,216円
緊急支援および中期支援の合計	25,607,932円

この募金使途中間報告は、日本YWCA東日本被災者支援募金および助成金から用いた金額です。この他、各地域YWCAで実施した支援プログラムは、各地域YWCAが受けた寄付や助成金も含めて実施しています。(2011年3月18日~2012年2月末日現在)